

平成 18 年 7 月 21 日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各 位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

自己血採血量が過量採血となっていた事例について(通知)

平素は、骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、非血縁者間骨髄ドナーで、自己血採血時に過量採血となっていた事例が報告されました。当財団としては、再発防止の観点から当該事実を各採取施設に対し情報提供し、注意喚起を促すこととしました。

採取施設からの報告では、自己血輸血時に自己血の総量が多いことに気付き、重量を測定したところ過量採血が判明したとのことです。

< 情報 >

骨髄採取予定量 : 720 ml

自己血準備予定量 : 400 ml

自己血採血量 : 550 ml (輸血用バッグ測定結果、推定総量)

準備された自己血は全量輸血されました。

< 原因 >

- ・自己血採血時に、自動血液採取装置の採取用バッグを選択する過程で、シングルバッグ用の設定が選ばれず、MAPバッグ用の設定で採血が行われた。
- ・採取担当医師が自動血液採取装置の操作に習熟していなかった。
- ・自動血液採取装置の操作マニュアルに、バッグに合わせて選択する旨の記載がなかった。

< 対策 >

- ・自動血液採取装置 操作マニュアルの刷新を、製造業者へ申し入れる。

以上、ご報告いたします。

ご質問、ご不明な点がございましたら、下記まで御連絡ください。

ドナーコーディネート部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-19
廣瀬第2ビル 7階
TEL : 03-5280-2200
FAX : 03-5283-5629